

真というはいつわりへつらわぬを真という

「釋親鸞」は、御真筆『唯信鈔』の署名より転載したものである。

「真」というはいつわりへつらわぬを真という（『高田聖典』より引用）の文言は、

ご『和讃』の添え書きや、『唯信鈔文意』にご開山が著されている言葉で、

今まさに私に向けられている。

日常をいつわりとへつらいの中にあたりまえに平然と生きている我が身が、

ご開山から問われているのである。それは、八百年前の世も変わらない人生の闇を照らしめ、

念仏者として真宗を生きる者の生き方を示唆している重い文言である。

釋親鸞

真宗教団連合東京支部宗祖750回忌 教団連合40周年記念大会・東京支部10周年記念大会

期日 2013(平成25)年 4月30日(火)14:00~ 会場 築地本願寺「本堂」(東京都中央区築地3-15-1)

記念法話 講師 小川一乗氏 (真宗大谷派・真宗教団連合特別講師)

記念公演「第一部」坪井美香氏(俳優)「第二部」ウオン ウィンツァン氏(ピアニスト)



真 宗 教 団 連 合

浄土真宗本願寺派 真宗大谷派 真宗高田派 真宗佛光寺派 真宗興正派 真宗木辺派 真宗出雲路派 真宗誠照寺派 真宗三門徒派 真宗山元派
<http://www.shin.gr.jp/>

真 宗 教 団 連 合 東 京 支 部



開催にあたって



2011(平成23)年に親鸞聖人750回忌をお迎えし、真宗教団連合としては2010(平成22)年に40周年を、真宗教団連合東京支部は2013(平成25)年に結成10周年を迎えるにあたり、真宗教団連合憲章に掲げる真宗宣布についての総合的対策を樹立し、真に時代に即応した教化活動を展開するため、真宗教団連合40周年共同宣言を基に本事業を推進する。

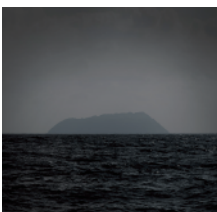
記念法話



小川 一乗

1936(昭和11)年生まれ。大谷大学卒業。真宗大谷派講師。前教学研究所長(真宗大谷派)。元大谷大学学長。大谷大学名誉教授。文学博士。真宗教団連合特別講師。専門はインド仏教学。著書『「顕浄土真仏土文類」解釈』(東本願寺出版)、『本願一念仏成仏の教え』(東本願寺出版)、『空性思想の研究』(文栄堂)、『親鸞と大乘仏教』(法蔵館)など。

記念公演 第1部



語り「島焼け」

原作:高田 宏 脚本:坪井美香 演出:笠井賢一

出演:坪井美香(語り) 松田弘之(能管) 設楽瞬山(尺八) 橘政愛(パーカッション)

いのち 還る

島焼け前の、飢饉を知らぬ豊かな故郷へ、還ろう。還そう。

黒潮分流の荒波にもまれ、周囲は断崖絶壁で接岸出来る浜を持たない絶海の孤島「青ヶ島」。

天明五年(1785)の大噴火で八丈島に逃れた島民が、後に柳田国男に「青ヶ島のモーゼ」と讃えられた名主・次郎太夫のもと「起し返し(復興)」に励み、50年の後ついに「還住」を果たした。



坪井美香 俳優

蜷川スタジオを経て現在フリー。プロデュース公演で活躍。また、関弘子に師事して「語り」を学び、レパートリーは日本の古典から現代小説まで幅広く、音楽、舞踊、美術など様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションも多い。近年、深大寺や本行寺(月見寺)など、お寺で語る機会が増えている。2011年より『島焼け』『雪古九谷』など作家・高田宏の著作を語るシリーズを開始。

記念公演 第2部



ウォン ウィンツァン ピアニスト、即興演奏家、作曲家

神戸生まれ、1歳より東京で育つ。19歳からプロとしてジャズ、フュージョン、ソウル、前衛音楽を演奏。1987年瞑想の体験を通して自己の音楽の在り方を確信し、90年にピアノソロ活動を開始、この頃にウォン独自の即興演奏を主体にしたピアノソロ・スタイルが生まれる。92年インディーズ・レーベル“サトワミュージック”を発足、ファーストアルバム「フレグランス」がFMから火がつきロングセラーに。以後「Doh Yoh」「エイシアンドール」「たましいのトポス」「光の華」「エリック・サティ」など20タイトルを超えるアルバムをリリース。また、NHKスペシャル「家族の肖像」、BSHiスペシャル「九塞溝」、現在放送中のNHK「につぼん紀行」やEテレ「こころの時代」のテーマ音楽でも知られる。ピアノソロ・コンサートでは、音の力でオーディエンスの深い意識とつながり、解き放たれた静寂空間を創りだす。超越意識で奏でるその透明な音色で「瞑想のピアニスト」と呼ばれている。

お問い合わせ

築地本願寺・東京教区教務所

住所:東京都中央区築地3-15-1

電話:03(3541)1666

当日の法要、記念法話、記念公演の様子はインターネットUstream配信予定。

真宗教団連合ホームページ <http://www.shin.gr.jp/>

